

第4次埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画（原案）に関する  
意見募集の結果について

1 意見公募の実施概要

(1) 募集期間

令和7年10月1日（水）から10月31日（金）までの31日間

(2) 募集対象者

- ① 市内に住所を有する方
- ② 市内の事業所等に勤務する方
- ③ 市内の学校に在学する方
- ④ その他この案に関し、利害関係を有する方

(3) 周知方法

令和7年10月号広報川越及び市ホームページ

(4) 閲覧方法

- ① 川越市役所政策企画課（本庁舎4階）、各市民センター、川越駅西口連絡所、各図書館
- ② 市ホームページ

(5) 意見提出方法

- ① 川越市役所政策企画課（本庁舎4階）へ提出  
（直接持参、郵送又はファックス）
- ② 市ホームページから提出

2 結果概要

- (1) 意見提出者 3名
- (2) 意見件数 6件

番号	意見の概要	市の考え方	案の修正 有無
1	<p>本計画は、各市町をまとめて計画されているが、本来は、組織統合（市町村）を行い検討すべきである。コスト削減や行政DXを進めるため、広域行政組織として組織再編を検討すべきである。</p>	<p>現在、国では人口減少、少子高齢化といった社会問題に対応するため、市町村の広域的な連携による地域生活圏の形成を目指しています。</p> <p>合併は長期的な課題として検討が必要ですが、現時点では、国が示すような、広域的な連携の仕組みを活用するなどして、より魅力的な都市圏をつくっていきたいと考えております。</p>	無
2	<p>ここ 10 年あまり、日本各地で様々な人権侵害問題が顕在化し、社会的弱者、性的マイノリティー、外国人に対する差別や排斥行動が深刻化している。レインボープランの策定に当たっては、次の方針を盛り込むべきである。</p> <p>1 あらゆる差別を許さない。差別を助長しかねない立法、政策は速やかに改定する。</p> <p>2 日本国憲法ならびに日本国が批准した人権関連の国際条約を遵守する。とくに、難民条約、こども権利条約の順守を重要方針とする。</p>	<p>「原案」17 ページ「4 国際的価値観の変化」において、「国際的な流れにのっとった都市圏を目指す必要があります。」と示しているとともに、「原案」32 ページ「まちづくりの視点2」において、「誰もがあらゆる場所で活躍できる「共生都市圏」を目指すことが求められます。」と示しております。</p> <p>協議会では、都市圏住民一人一人が、健康で自分らしくいきいきと暮らせる環境を整え、仲間や居場所を得られるように努めてまいります。</p>	無

3	<p>人口減少の中で広域な取組の必要性が増しており、自治体間で人材の奪い合いとならないように、協力すべきである。</p> <p>第3次埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画の計画期間中に鳩山町が加入したことは喜ばしいことである。</p>	<p>「原案」14ページ「社会状況を踏まえた対策」において、広域的な連携の強化及び市町を越えた共創の機運醸成の必要性を示しております。</p> <p>協議会では、今後も、住民が暮らしやすい地域を目指し、構成市町で連携・協力してまいります。</p>	無
4	<p>「原案」14ページ「(1) 我が国の現状」において、「全国の自治体のうち、744自治体に消滅可能性があると言われております。」という文がある。漠然と不安を喚起するような書き方ではなく、構成市町それぞれについて、正確な現状分析とその解決策を記載した方がいいのではないか。</p>	<p>協議会では、構成市町全体を川越都市圏という地域生活圏で捉え、一体的な発展を目指しており、市町を越えて、持続可能な地域づくりを共に目指してまいります。</p>	無
5	<p>「原案」30ページ「6地域交流」について、通勤通学の流入出関係だけでなく、各市町の観光や事業等の交流関係もビッグデータを活用して分析できれば、新たな知見を盛り込んだまちづくり施策が検討できるのではないか。</p>	<p>御指摘のとおり、事業の実施内容については、様々なデータを活用し、効果的な事業となるように努めてまいります。</p>	無

<p>6</p>	<p>基本目標を「人」、「場」、「にぎわい」、「くらし」、「しくみ」の5つに分類することは間違い無いと思うが、構成市町の魅力が相互に結びついていることを、より効果的に発信できるとよい。</p> <p>広域連携の方法や川越都市圏の魅力をより発信することができれば、人々の交流が増し、地域が活性化すると考える。</p> <p>近接する市町で連携し、人口減少下でも、各市町の魅力が残るまちづくりにつながればよい。</p> <p>そのためにも、広域連携や川越都市圏の魅力について、構成市町の住民に知ってもらう機会をより創出されることを期待する。</p>	<p>御指摘のとおり、今後は、広域連携の必要性や川越都市圏の魅力を周知するため、情報発信の強化を図っていく必要があります。</p> <p>協議会では、第4次埼玉県川越都市圏まちづくり基本構想・基本計画に基づき、今後、効果的な情報発信に努めてまいります。</p>	<p>無</p>
----------	--	--	----------